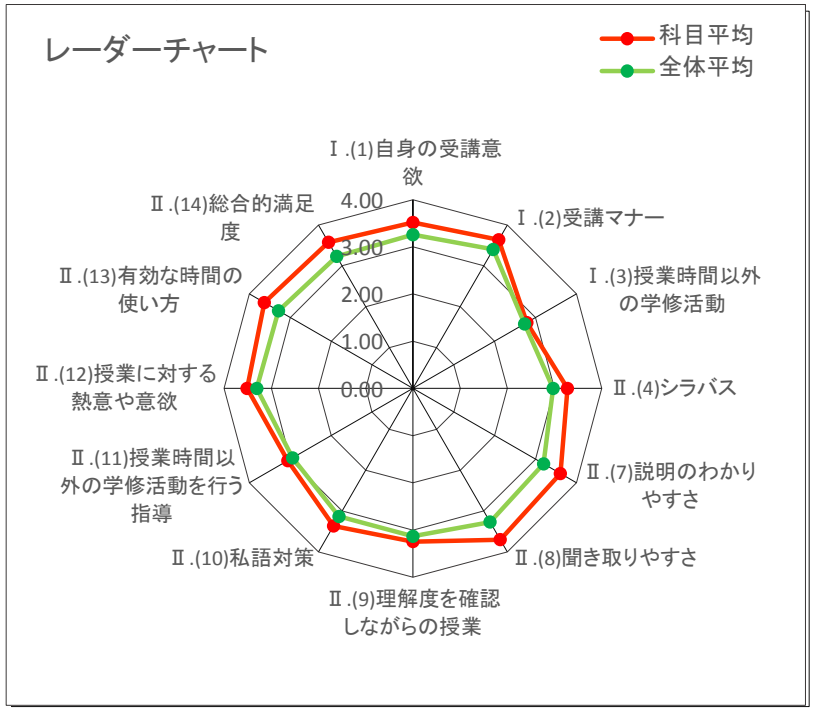
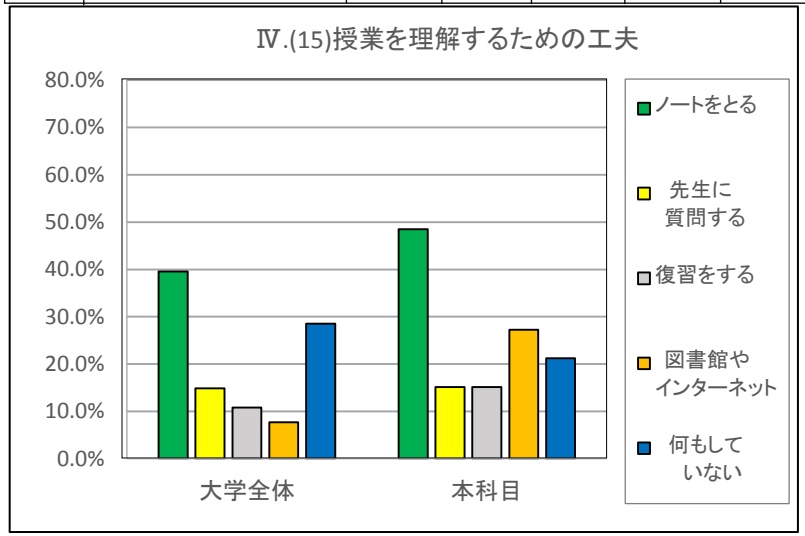
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.52	3.26
	Ⅰ.(2)	3.64	3.40
	Ⅰ.(3)	2.79	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.27	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.61	3.20
	Ⅱ.(8)	3.70	3.27
	Ⅱ.(9)	3.24	3.13
	Ⅱ.(10)	3.36	3.13
	Ⅱ.(11)	3.06	2.94
	Ⅱ.(12)	3.52	3.31
	Ⅱ.(13)	3.64	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.58	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	48.5%	15.2%	15.2%	27.3%	21.2%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.31	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.42	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.58	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	43304/43353
科目名	地球の科学/地球科学
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスを通して授業内容や目的を明記した他、毎回の授業冒頭において今後の授業展開を示し、当日の授業概要を説明した。その結果、授業展開等の授業計画を把握していた受講生は多かったものと思われる。科学の一分野としての理系科目ではあるが、「地球の歴史」を取り上げ、その物語的な側面にポイントを置きながら講義を進めたことから、「難易度が高い」と感じた受講生は必ずしも多くなかった。今後とも、受講生の学修背景を考慮しながら、理系的な内容をわかりやすく伝える方法を工夫していく必要があると考える。

②授業の進め方について

「説明のわかりやすさ」や「聞き取りやすさ」に関しては、「やや」も含めて9割程度の受講生が「わかりやすい」と答えた。また、「私語対策」に対しても、約8割の受講生が評価していることから、授業環境を維持し、授業内容をわかりやすく伝えることはできたものと考えられる。その結果として、「総合的満足度」は比較的高い値を示している。ただし、「理解度を確認しながらの授業」の評価に対しては全体平均程度に留まっており、十分に対応できなかったことが伺える。また、「授業時間以外の学修活動」やそれを促す指導が不足しており、授業内外での受講生の学修活動を活性化させる仕掛けを用意する必要がある。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

大教室という場での授業においては、有効な私語対策を講じることが静穏な授業環境を維持する上で重要な課題であるが、今回の授業では比較的適切に対応できたと言える。ただし、今後の授業においても、授業中の私語が他の受講生の受講機会を損なうことなどを説明し、私語対策には十分に配慮する必要がある。また、授業内外での自発的な学修を促すために、授業中における発問を増やしたり、授業外で取り組むことのできる小課題を用意することも考えていかなければならない。理系的な専門事項を伝える際には、その意味や内容を丁寧に説明し、十分に理解する時間的余裕を設けていきたい。

奈良学園大学